



平成28年度が始まりました。今年度最初のすずかけタイムスの発行です。今年度は天候に恵まれ、鹿野城跡公園の桜が美しい姿を見せてくれました。また、400年以上前から伝わる伝統的な祭礼である“鹿野祭”もあり、何かと盛り上がった鹿野町でした。

毎年完売の人気商品「板わかめ」新物発売開始致しました。現在酒津漁港より水揚げされたわかめを加工しています。色も良く品質も◎です。販売はすずかけでの直売はもちろん、賀露のわったいなさん等で取り扱っていただいておりますので、是非ご賞味くださいませ。

ウェア印刷においては、暖かくなって来たこともあり徐々に注文が増えてきております。お急ぎの注文がございましたら、お早めのご連絡をお願い致します。6月頃に名刺・封筒のオンデマンド印刷機の導入を予定しております。小ロット・短納期で対応が可能ですので、是非購入のご検討をお願い致します。



出店しています。
全国発送 OK!!



リアルタイムで
情報発信中!!

緊急ニュース

速報です！すずかけの母体である鳥取県厚生事業団のロゴマークが出来上がりました。デザインについては当事業所のスタッフが担当させていただきました。



デザインコンセプト

- 正方形 = 男・女、障害の有無などに関わらず、皆等しい事を表現。
- 天 色 = 晴天の澄んだ空のような鮮やかな青色の事。透明感をイメージ。
- 鳥+k = 鳥取の「鳥」と厚生事業団のイニシャル「K」をモチーフとし、独自のデザインにした。
- 立体感 = 立方物のような奥行き感を出し、多面的/多面性を表現した。
- シンプル = シンプルに徹する事で飽きがち長く愛されるデザインとした。

インクジェットプリンター から紐解く印刷の歴史特集!! vol.3

ウェアプリントにおける「有版・無版印刷」

前回、ウェアプリントにおける、様々な印刷方法について説明をしてきました。今回はその中でも、今特に注目されている、ウェアプリントにおけるオンデマンド印刷「ダイレクトインクジェットプリント」に焦点をあてたいと思います。従来の印刷方法であるシルク印刷は原則一色につき、一枚の製版(昔でいうガリ版)が必要で、1枚Tシャツを作りたい場合でも、一色だと一枚、2色だと二枚の製版が必要となり、【シャツ代、プリント代、製版代】をお支払い頂く必要があります。製版代金は一般的に5,000円から1万円程度が相場ですので、総額は結構なものとなってしまいます。ダイレクトインクジェットプリントだと、製版代が不要な為、お支払い頂くのは【シャツ代、プリント代】のみで、少ない枚数でもリーズナブルに製作が可能なのです。しかも、製版の製作期間も不要な為、デザインさえあれば、Tシャツに即プリントが可能で、驚くほどの短納期が実現しました。



ダイレクトインクジェット機 SC-F2000 結構大きいです。



エプソン社の家庭用インクジェットプリンターで培ってきた高い技術が活かされています。



ホワイトインク搭載で濃色生地へのプリントも鮮明です。

もう一点特筆すべき点は【何色使っても価格に変動がない】事です。これは原理が一般的な家庭用インクジェットプリンターと基本構造が同様で、印刷する媒体が「紙→Tシャツ」に替わっただけだからです。淡い色のTシャツであれば、一枚1,250円程度から製作が可能です。是非お試しください。

印刷媒体が何であっても、版のあるなしが決定的な違いとなるのですね。
ご注文の参考にさせていただければ幸いです(^o^)